

資料

大 閑 後 員 修 研 期 長



群馬県総合教育センター

目次

一、	LACシート	2
二、	授業実践 I 指導案	3
三、	授業実践 I ワークシート	11
四、	授業実践 I ヒントカード	13
五、	授業実践 II 指導案	14
六、	授業実践 II ワークシート	23
七、	授業実践 II ヒントカード	25
八、	授業実践 II モデル文	26
九、	授業実践 III 指導案	27
十、	授業実践 III ワークシート	37
十一、	授業実践 III ヒントカード	39
十二、	授業実践 III モデル原稿	40
十三、	授業実践 III 原稿用紙	41

本資料にはLACシートをはじめ、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」と、3領域の指導案やワークシートを掲載しています。指導案は、研究主題に基づいて授業を考案したため、3領域とも同じような学習活動を設定しました。したがって、活用する際には、年間指導計画と照らし合わせ、「考えの形成」の学習過程が位置付けられている授業であれば、学年、単元問わず幅広く活用できると考えます。また、LACシートは生徒の実態や単元の指導計画に合わせて、2時間用に改良することも可能であり、スピーチや作文の下書きメモとしても活用できると考えます。ぜひ、多くの授業で活用し、思考力の向上を図っていただければと思います。

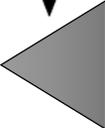
LACシート

年 組 番 名 前

第1時 学習課題

○×?	○×?	○×?
アドバイスを受けて…	アドバイスを受けて…	アドバイスを受けて…

アドバイス



根拠の適切さにより説得力が異なる
【主観】クラスのレクはドッジボールが1人！
【根拠①】ドッジボールのルールは全員が知っているから
【事実①】ルールを知っていただけは、全員がゲームに参加できる
【根拠②】私はドッジボールが好きだから
【事実②】好きなものは楽しい！
①の方が根拠が妥当で、②より説得力がある

考え

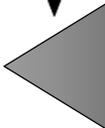
根拠①

事実①

第2時 学習課題

○×?	○×?	○×?
アドバイスを受けて…	アドバイスを受けて…	アドバイスを受けて…

アドバイス



考え

根拠③

根拠②

根拠①

事実③

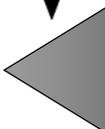
事実②

事実①

第3時 学習課題

○×?	○×?	○×?
アドバイスを受けて…	アドバイスを受けて…	アドバイスを受けて…

アドバイス



考え

根拠③

根拠②

根拠①

事実③

事実②

事実①

国語科学習指導案

令和〇年〇月〇〇日（〇曜日）第〇校時 1年〇組教室 指導者 後閑 大

1 単元名 根拠を明確にして話し合おう グループディスカッションをする

2 考察

(1) 教材観

近年、中学生のスマートフォン普及率は上昇し、学校生活以外ではSNSなどの非対面コミュニケーションツールで会話することが主流になりつつある。また、今年度はコロナウィルスの影響により、ますます対面でのコミュニケーションの機会は減少している。しかしながら、文化庁文化審議会国語分科会から出された「分かり合うための言語コミュニケーション（報告）」（平成30年）によると、「SNSなどによるコミュニケーションには、誤解やトラブルが付きものであるという認識は一般にも高く、自分の本音を親しい人に伝える場合には、対面での会話が望ましいと多くの人が考えている」という報告があり、伝え合う力を高めるためには対面でのコミュニケーションが重要であると言える。次に、対話は相手の話を受けて思考しながら話す活動であり、効果的な対話をするためには話題について自分の考えをもち、確実な論拠に基づき、筋道を立てて分かりやすく意見を述べながら話し合うことが重要である。さらに、「主体的・対話的で深い学び」を実現するためには、個人の考えに変容が生まれる学習過程を設定する必要がある。対話を通して、自分の考えを再考する機会をもつことで、話題について自分の考えをもち、確実な論拠に基づき、筋道を立てて分かりやすく意見を述べることができる論理的思考力や、自他の考えを吟味することで、物事を多様な観点から考察し、偏りのない思考に広げ、深めることができる批判的思考力を高めたいと考える。

そのため、本単元ではグループディスカッションを通して、一人一人が説得力のある意見、根拠を述べる場を設定した。少人数でグループを編成し、一人一人がディスカッションに参加しやすい状況を作り、できるだけ多く話す機会を与えたい。一方、よりよいディスカッションのためには、話し手の意見やそう考えた根拠、具体的事実を正確に聞き取り、グループ内での意見の共通点や相違点に気付くことが重要である。そこで、準備段階で自分の意見を根拠、具体的事実とともに書かせた上で、話し手の意見を予測したり予め質問を準備したりといった作業を取り入れ、説得力のある根拠を考えることができる力や、他者の意見のよい点を指摘したり助言したりしながら、自分の意見を見直したり深めたりする力を身に付けさせたい。

(2) 児童（生徒）の実態（男子〇〇名 女子〇〇名 計〇〇名）

授業に対して意欲的に取り組む生徒が多いものの、人前で自分の考えを述べることには抵抗感を抱いている生徒も少なくない。間違いを恐れがちなため、普通の授業では発言者が限られているといった現状である。日常生活でも、単語だけで話そうとしたり、マニュアルがないと自信をもって話せなかったりといった様子が見られる。また、総合的な学習の時間や道徳などで対話的な学習活動は設定されているものの、学校が再開されて間もないため、グループディスカッションの経験はどの生徒も少ない。そこで、グループディスカッションが円滑に進められるようにするため、身近な話題を設定することや、自分の考えを広げ深められるようにするため、思考過程を把握しながらグループディスカッションを行うことが求められる。

(3) 指導方針

- ・学習過程を把握しやすくするため、フラッシュカードなどの視覚教材を用いる。
- ・グループディスカッションが円滑に進められるようにするため、身近な話題を設定する。
- ・説得力のある考えを形成させるため、1単位時間ごとに「自分の判断＋一つの根拠と事実」→「自分の判断＋複数の根拠と事実」→「自分の判断＋複数の根拠と事実＋反対意見への反論」と継続的、段階的に論理的思考力を高めていく。
- ・自分の考えを論理的に形成するために、思考過程を可視化し、学習課題から自分が考えたことを順序立てたり、俯瞰したりすることができる「LACシート」を用いる。
- ・グループ活動が円滑に進むようにするため、1グループ4人編成とし、それぞれ司会を決めさせ、個人で

考えた根拠に説得力があるかについて、グループで検討させる。

- ・ 自他の思考を広げ、深めるため、自分の思考過程を可視化した「LACシート」を基にグループで質問、意見、感想、評価などの助言を行わせる。
- ・ 自分の意見の説得力を高めさせるため、「LACシート」から自分の意見や根拠を吟味させ、修正点や改善点を考えさせる。

3 研究との関わり

国立教育政策研究所から提案された「21世紀型能力」の中核とされる「論理的・批判的思考力」の学びを充実させるため、平成29年告示の中学校学習指導要領解説 国語編では、考えの形成が、全領域の学習過程に位置付けられ、自分の考えを形成する学習過程をより重視するよう述べられている。本研究では、この考えの形成に着目し、「判断」「根拠」「具体的な事実」の3層の思考過程を構造化して自分の考えを形成・記述する論理的思考力や、互いの考えを交流することで、「再反論」「吟味」「推敲」を可視化して改善点を見いだす批判的思考力を高めることを目指す。そのため、考えを形成し、記述する場面や共有場面の思考過程を可視化した「LACシート」を開発し、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の様々な領域で汎用的に活用させ、筋道を立てて考えを形成したり、他者の助言から自分の考えを広げたり深めたりすることの有効性を明らかにする。

本単元ではまず、学習課題に基づいて自分の考えを形成、記述する場面において、「LACシート」の前半部である「判断」「根拠」「具体的な事実」を構造化した部分に記述させ、自分の考えを筋道を立てて考えられるようにする。次に、根拠の明確さや表現の工夫、論理の展開についてグループディスカッションを行う場面で、「LACシート」の後半部である反論や助言を可視化した部分を活用してディスカッションさせることにより、他者の意見のよい点を指摘したり助言したりしながら、自分の思考過程を意識的に吟味し、自他の考えを広げ、深められるようにする。本単元の学習を通して、「論理的・批判的思考力」を高めるために「話すこと・聞くこと」の学習で「LACシート」を取り入れる効果を検証していきたいと考える。

4 単元の目標

- ・ 意見と根拠など情報と情報の関係について理解することができる。 (知識及び技能) (2) ア
- ・ 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考慮することができる。
(思考力・判断力・表現力) A (1) イ
- ・ 「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。
(思考力・判断力・表現力) A (1) オ
- ・ 進んで相手に伝わるように、話の構成を考え、学習の見通しをもって話し合うことができる。
(学びに向かう力、人間性等)

5 指導と評価の計画 (全3時間予定)

評価 規 準	知識・技能	意見と根拠など情報と情報の関係について理解している。 (2) ア
	思考・判断・表現	① 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。 A (1) イ ② 「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。 A (1) オ

		主体的に学習に取り組む態度	進んで相手に伝わるように、話の構成を考え、学習の見通しをもって話し合おうとしている。			
時程 (次)	過程	学習活動	評価の観点			評価規準、評価方法等
			知	思	態	
第1時	つかむ	単元の学習課題 根拠を明確にして話し合おう [本時の学習課題] 説得力のある根拠を考えよう ・「オンライン学習で心掛けること」について、説得力のある根拠を考える。		●	●	[思考・判断・表現] ① ・他者の意見のよい点を指摘したり助言したりしながらディスカッションし、自分の意見や根拠を見直したり深めたりしている。 (観察・LACシート) [主体的に学習に取り組む態度] ・説得力のある根拠を明確にして話の構成を考えようとしている。 (観察・LACシート)
第2時	追究する	[本時の学習課題] 説得力のある根拠をたくさん考えよう ・第1時のテーマについて、説得力のある根拠を複数考える。		●	●	[思考・判断・表現] ① ・他者の意見のよい点を指摘したり助言したりしながら話し合い、自分の意見や根拠を見直したり深めたりしている。 (観察・LACシート)
第3時	まとめる	[本時の学習課題] 説得力のある根拠や再反論を考え、グループディスカッションをしよう ・予想される反論から再反論を考え、第1時のテーマでグループディスカッションをする。	○	○	○	[知識・技能] ① ・明確な根拠に基づき、論理的に意見を述べている。 [思考・判断・表現] ② ・話題や方向を捉えながら話し合い、自他の考えを吟味することで、物事を多様な観点から考察し、自分の考えを広げ深めている。 (観察・LACシート) [主体的に学習に取り組む態度] ・説得力のある根拠を明確にして、話の構成を考えようとしている。 (観察・LACシート)

(○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

6 本時の展開 (1/3)

- (1) **ねらい** 共有場面で他者の意見のよい点を指摘したり助言したりしながらグループディスカッションし、説得力のある根拠や、裏付けとなる事実を考えることができる。
- (2) **準備** 教科書、掲示資料、LACシート、司会進行表兼振り返りシート
- (3) **展開**

学習活動	指導上の留意点及び支援・評価
------	----------------

・予想される生徒の反応	時間	◇評価 ◎研究上の手立て ※努力を要する状況（C）への手立て
1 教科書を読み、学習課題と手順を確認する。	10分	・話合いの話題や方向を的確に捉えて、根拠を明確にしてグループディスカッションができるようにするため、教科書に記述されている話合いの注意点を意識させる。
[本時の学習課題] 説得力のある根拠を考えよう		
2 グループディスカッションのテーマに対する自分の意見と根拠、具体的事実をLACシートにまとめる。 (個人)		◎説得力のある根拠を考えさせるため、具体的な体験や例をLACシートにまとめるよう指示する。
【テーマ】 オンライン学習で心掛けること		
(予想される生徒の反応) ・自分でノートなどを取り、勉強すること。なぜなら見ているだけでは学習が身に付かないから。 ・全員がインターネットにつなが状態を作ること。なぜならインターネットに接続できないとオンライン学習が受けられないから。 3 個人で考えた根拠を基にグループで検討する。(グループ) (予想される生徒の反応) ・オンラインで何度でも見返せば、勉強は身に付くのではないか。 ・インターネットがつながっていない家はどうすればいいと思うか。	30分	※うまく書けない生徒にはオンライン学習のメリット・デメリットや具体的な体験を思い出し、それを基に根拠を考えるよう助言する。 ・個人で形成された考えを共有させるため、1グループ4人編成とし、それぞれ司会を決めさせ、個人で考えた根拠に説得力があるかについて、グループで検討させる。 ・話合いが円滑に進むようにするため、司会進行表を用いる。 ◎より説得力のある根拠を導き出させるため、個人で考えた自分の考えや根拠を発表者が発表した後、グループのメンバーから感想、評価（○）、意見（×）、質問（?）などの助言を伝え、発表者がそれに答えるというディスカッションを行い、助言者が付箋紙に記入したものを、グループのメンバーごとに、相手のLACシートのアドバイス欄に貼るよう指示する。
4 自分の意見や根拠の課題を見付け、修正や改善をする。(個人) (予想される生徒の反応)		◎自他の考えを明確にさせるため、グループでの共有活動から、自分の意見や根拠を吟味させ、修正点や改善点をLACシートに朱書きさせる。

<ul style="list-style-type: none"> 根拠には自分の具体的な体験などを入れると説得力が増す。 	10分	<p>[思考・判断・表現] ①</p> <p>◇他者の意見のよい点を指摘したり助言したりしながら話し合い、自分の意見や根拠を見直したり深めたりしている。</p> <p>〈観察・LACシート(話す・聞く)[記]〉</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <p>◇説得力のある根拠を明確にして、話の構成を考えようとしている。</p> <p>〈観察・LACシート[記]〉</p>
<p>5 次時の確認と予告をする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> 本時の改善点を基に、自分の意見の説得力を高めさせるため、次時は根拠と具体的事実を複数考えることを伝える。

6 本時の展開 (2/3)

- (1) **ねらい** 共有場面で他者の意見のよい点を指摘したり助言したりしながらグループディスカッションし、説得力のある根拠や、裏付けとなる事実を複数考えることができる。
- (2) **準備** 教科書、掲示資料、LACシート、司会進行表兼振り返りシート
- (3) **展開**

学習活動 ・予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 ◇評価 ◎研究上の手立て ※努力を要する状況(C)への手立て
<p>1 前時を振り返り、本時の学習課題と手順を確認する。</p>	10分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習課題を導くため、前時に使用したLACシートの記述内容を振り返りながら前時の終末で修正した内容を確認させ、説得力のある根拠と具体的事実との関連を意識させる。
<p>[本時の学習課題] 説得力のある根拠をたくさん考えよう</p>		
<p>2 グループディスカッションのテーマに対する自分の意見と複数の根拠を、LACシートにまとめる。 (個人)</p>		<p>◎説得力のある根拠を複数考えさせるため、主張に基づいた明確な根拠と、それを裏付ける具体的な体験や例を合計三つ、LACシートにまとめるよう指示する。</p>
<p>[テーマ] オンライン学習で心掛けること</p>		
<p>(予想される生徒の反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> いつでも見られる反面、生活がルーズになるかもしれないので計画的に学習する。 オンラインだと分からない所などが質問しづらいので、積極的にチャット機能などを使う。 	30分	<p>※うまく書けない生徒には、前時に他の生徒が考えた根拠、具体的事実の中から説得力のあるものをピックアップし、モデル提示する。</p>
<p>3 個人で考えた根拠を基にグループで検討する。(グループ)</p>		<ul style="list-style-type: none"> 個人で形成された考えを共有させるため、1グループ4人編成とし、それぞれ司会を決めさせ、個人で考

<p>(予想される生徒の反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつでもどこでも見られるのがオンライン学習のよい点なので、学習する人の生活スタイルに任せればいいのではないか。 ・文字だけのやりとりで本当に理解ができるだろうか。 		<p>えた根拠に説得力があるかについて、グループで検討させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いが円滑に進むようにするため、司会進行表を用いる。 <p>◎より説得力のある根拠を導き出させるため、個人で考えた自分の考えや根拠を発表者が発表した後、グループのメンバーから感想、評価(○)、意見(×)、質問(?)などの助言を伝え、発表者がそれに答えるというディスカッションを行い、助言者が付箋紙に記入したものを、グループのメンバーごとに、相手のLACシートのアドバイス欄に貼るよう指示する。</p>
<p>4 自分の意見や根拠の課題を見付け、修正や改善をする。(個人)</p> <p>(予想される生徒の反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見に対する質問や反論を予想しておけば、グループディスカッションでも困らない。 <p>5 次時の確認と予告をする。</p>	<p>10分</p>	<p>◎自他の考えを明確にさせるため、グループでの共有活動から、自分の意見や根拠を吟味させ、修正点や改善点を第2時用LACシートに朱書きさせる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>[思考・判断・表現] ①</p> <p>◇他者の意見のよい点を指摘したり助言したりしながら話し合い、自分の意見や根拠を見直したり深めたりしている。</p> <p>〈観察・LACシート(話す・聞く)[記]〉</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <p>◇説得力のある根拠を明確にして、話の構成を考えようとしている。〈観察・LACシート[記]〉</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の改善点を基に、根拠を明確にして話題や方向を捉えた話し合い活動をするため、次時は予想される反論と再反論を考えた後、グループディスカッションをすることを伝える。

6 本時の展開 (3 / 3)

- (1) **ねらい** 前時までのLACシートを基に他者からの反論を予想し、再反論を考え、グループディスカッションを行うことで、自分の意見を広げ深めることができる。
- (2) **準備** 教科書、ノート、掲示資料、LACシート、司会進行表兼振り返りシート
- (3) **展開**

<p>学習活動</p> <p>・予想される生徒の反応</p>	<p>時間</p>	<p>指導上の留意点及び支援・評価</p> <p>◇評価 ◎研究上の手立て</p> <p>※努力を要する状況(C)への手立て</p>
<p>1 前時を振り返り、本時の学習課題と手順を確認する。</p>	<p>10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習課題を導くため、前時までに使用したLACシートの記述内容を振り返りながら前時の終末で修正した内容をLACシート第3時欄に転記させ、説得力のある根拠とそれを裏付ける具体的事実との関連を意識させる。 ・転記の際には説得力のある根拠とそれを裏付ける具体的事実の優先順位を決めさせ、LACシート

第3時欄の根拠①から記入するよう指示する。

[本時の学習課題]

説得力のある根拠や再反論を考え、グループディスカッションをしよう

2 前時までにまとめたグループディスカッションのテーマに対する自分の意見と根拠を確認し、そこから予想される反論、質問やそれに対する再反論を考え、LACシートのアドバイス欄にまとめる。(個人)

15分

◎他者の意見のよい点を指摘したり助言したりしながら「再反論」「吟味」「推敲」を可視化して説得力のある考えを形成させるため、前時までに記述したLACシートを参照させ、予想される反論、質問やそれに対する再反論を考えさせる。

【テーマ】

オンライン学習で心掛けること

(予想される生徒の反応)

- ・「学習する人の生活スタイルに任せればいい」という反論に対しては、「中学生は勉強だけでなく健康な体作りも大切なので、規則正しい生活をした方がいい」
- ・「文字だけのやりとりで本当に理解ができるだろうか」という反論に対しては、「文字だけで理解できなければ、Zoomなどオンラインで会話ができるアプリを使えばいい」

※うまく書けない生徒には、予想される反論リストを配り、そこから再反論を考えるよう指示する。

3 グループディスカッションを行う。
(第2時とは別のグループ)

15分

- ・グループ活動が円滑に進むようにするため、1グループ4人編成とし、それぞれ司会、記録の役割を決めさせ、グループディスカッションを行わせる。
- ・グループディスカッションが円滑に進むようにするため、司会進行表を用いる。
- ・自他の考えを広げ深めさせるため、グループディスカッションの最後で、MVP(最も説得力のあるディスカッションができた人)を決め、グループディスカッションで発言した説得力のある根拠や反論、再反論について全体に報告させる。

4 グループディスカッションの内容を報告する。(全体)

5 本単元の学習を振り返る。(個人)
(予想される生徒の反応)

- ・根拠には自分の体験などを入れると説得力が増す。

◎説得力のある根拠の見だし方や、他者の助言や反論から自分の意見を見直したり深めたりしたこと、LACシートの有効性について振り返りシートに記入させる。

<ul style="list-style-type: none"> ・グループの人の助言から自分の意見や根拠を見直し、説得力のあるものになった。 ・グループディスカッションをやる時には、反論や再反論を予め考えておくと話題が逸れにくい。 	10分	<p>[知識・技能]</p> <p>◇明確な根拠に基づき、論理的に意見を述べている。 〈観察・LACシート〔記〕〉</p> <p>[思考・判断・表現] ②</p> <p>◇話題や方向を捉えながら話し合い、自他の考えを吟味することで、物事を多様な観点から考察し、自分の考えを広げ深めている。 〈観察・LACシート・振り返りシート (話す・聞く)〔記〕〉</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <p>◇説得力のある根拠を明確にして、話の構成を考えようとしている。 〈観察・LACシート〔記〕〉</p>
--	-----	--

グループ検討会司会進行表（第1時・第2時）

1年 組 番 名前 _____

①役割分担をしよう

・司会者 _____

②進め方（以下のとおりに読み上げてください。）

- ・**司会者**「これからグループ検討会を始めます。個人で考えた根拠や具体的事実に説得力があるのかを検討していきます。まずは私の左隣の人から意見、根拠、具体的事実を発表してもらいます。〇〇君（さん）お願いします。」
(発表が終わったら・・・)
 - ・**司会者**「〇〇君（さん）の考えを説得力のあるものにするため、質問、反論、助言など考えて、ふせん紙に書いてもらいます。それではお願いします。
(グループのメンバーがだいたい書き終わったら・・・)
 - ・**司会者**「それでは質問、反論、助言などを受け付けます。質問などがある人は挙手をお願いします。」
 - ・**助言者**「(例 〇〇君に質問です。さっき、自分でノートなどを取り、勉強することだと言いましたが、オンラインで何度でも見返せば、勉強は身に付くと思うんですが、どう思いますか。」
(発言したらそのふせん紙を相手のLACシートにはる)
 - ・**司会者**「〇〇君お願いします。」(と言って、質問に答えてもらう。)
(以下、同じ流れで・・・)
 - ・**助言者**「(例 〇〇さんに質問です。インターネットが繋がっていない家はどうすればいいと思いますか。」
 - ・**司会者**「〇〇君お願いします。」(と言って、質問に答えてもらう。)
- (質問がない場合)(〇〇君質問はありますか)と言って指名する。
- (それでも質問がない場合)「それでは私が質問しますが、〇〇君の意見ですが・・・」
(などと言って、質問をする。)
(全員の検討が終わったら・・・)
- ・**司会者**「以上でグループ検討会を終わります。ありがとうございました。」

1時間目の振り返り：学習課題〈説得力のある根拠を考えよう〉

2時間目の振り返り：学習課題〈説得力のある根拠をたくさん考えよう〉

グループディスカッション司会進行表（第3時）

1年組番名前 _____

①役割分担をしよう

・司会者 _____

・記録者 _____

②進め方（以下の通りに読み上げてください。）

・**司会者**「これからグループディスカッションを始めます。テーマは「オンライン学習で心掛けること」です。話合いの目的は、オンライン学習で心掛けることで説得力のある根拠を班の中で決めていくことです。では、私の左隣の人から意見を発表してもらいます。〇〇君（さん）お願いします。」

（以下同様に「〇〇君（さん）お願いします。」）

・**司会者**「それでは質問を受け付けます。質問がある人は挙手をお願いします。」

・**発表者**「（例 〇〇君に質問です。「計画的に学習すると言いましたが、いつでもどこでも見られるのがオンライン学習のよい点だと思うんですが、どう思いますか。」

・**発表者**「（例 〇〇さんに質問です。オンライン学習で分からない所があった場合、どうすればいいか、聞かせてください。」

・**司会者**「〇〇君お願いします。」（と言って、質問に答えてもらう。）

（質問がない場合）（〇〇君質問はありますか）と言って指名する。

（それでも質問がない場合）「それでは私が質問しますが、〇〇君の意見ですが・・・」（などと言って、質問をする。）

（意見が全て出てしまったと感じたら）

・**司会者**「それではグループのMVPを決めたいと思います。最も説得力のあるディスカッションができたのは誰だと思いますか？」（と言って、意見を求める。）

（意見がまとまりそうだったら）

「それでは、この班のMVPは〇〇君（さん）でいいですか。」

単元を終えての振り返り：学習課題〈説得力のある根拠や再反論を考え、グループディスカッションをしよう〉

説得力のある根拠を考えられたか。	○ ○ △	他の人の助言から自分の考えを深められたか。	○ ○ △
理由			
LACシートを使ったことで説得力のある根拠が考えられたり、自分の考えを深められたか	5・4・3・2・1		
理由			

ヒントカード

前時までの生徒の記述からピックアップしたものを、テレビモニター等を使用し、全体で紹介した後、個人思考の時間に使用。第2時以降、うまく根拠・事実が考えられない生徒に対して、手のひらサイズに印刷したヒントカードを必要な生徒に配付する。

◎前回の振り返りから・・・

- ・具体的な例や事実などを表せばよかった。
- ・説得力のある根拠には、その根拠を裏付ける事実がないといけなかった。
- ・テーマと根拠が合わないことがあったので次は気をつけたい。
- ・根拠を深く考えると相手が納得する。
- ・○○さんの反論でより説得力のある根拠を考えることができた。
- ・反論にも返すことができた。
- ・完ぺきな根拠だと思ったが友達の見解を聞いて浅いと思った。
- ・検討会では自分の予想外の根拠があった。

オンライン学習



- ・便利 (いつでもどこでも受けられる)
- ・生活面
- ・必要なもの
- ・ふつうの授業との違い
- ・学力は上がる?
- ・どんなことに気を付ける?

◎考家なので、学校よりも集中力を高めること

◎根家は学校よりも集中力が低くなりがちだから。

◎事僕はテレビなどを消して、音もない部屋でやっていた。

◎考時間帯を決めてやること

◎根時間帯を決めないと、夜中とかにやる日もあり、生活に支障が出るから。

◎事休校中、グダグダとやっていたら生活リズムが変わってしまった。

◎考わからない所は動画を繰り返し見返す

◎根ただ見ていられるだけでは理解できないから。

◎事オンラインだからこそ、何度も見ることができる。

◎考便利な物は有効に使うこと

◎根学校に行く時間などがはぶけるから。

◎事ムダな時間がないことで他の生活に時間を回すことができた。

国語科学習指導案

令和〇年〇月〇日（〇曜日）第〇校時 2年〇組教室 指導者 後閑 大

1 単元名 「君は『最後の晚餐』を知っているか」をどう思うか

2 考察

(1) 教材観

本単元は、中学校学習指導要領解説国語編第2学年2〔思考力・判断力・表現力等〕C読むこと（1）オ「文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること」を受け、文章の表現に表れた書き手の目的や意図を捉え、その根拠を明確にしながら自分の考えを形成することを学習する。一般に評論の文章とは、他の説明的な文章などに比べ、書き手の個性や価値観などに支えられたものの見方や考え方をより強く反映している。そのような評論の文章を読んで書き手の目的や意図を考えることにより、生徒は自分のものの見方や考え方を豊かなものにしていくことが可能となる。また、「主体的・対話的で深い学び」を実現するためには、個人の考えに変容が生まれる学習過程を設定する必要がある。対話を通して、自分の考えを再考する機会をもつことで、話題について自分の考えをもち、確実な論拠に基づき、筋道を立てて分かりやすく意見を述べることができる論理的思考力や、自他の考えを吟味することで、物事を多様な観点から広げ、深めることができる批判的思考力を高めたいと考える。さらに、本単元は、教科書では初めて学習する評論文である。生徒が美術の教科書などで目にしたことがある名画を対象に据えながら、書き手の個性的なものの見方や価値観などが述べられている。「かつこいい」といった日常的な言葉を効果的に使ったり、「解剖学」「遠近法」「明暗法」などの専門用語を具体例や図を示したりしながら、説得力のある論述を進めていく。対象自体の魅力や絵画の見方なども学びつつ、評論の読み方や評論を読むおもしろさに気付かせることのできる文章である。本単元を通して行われる「評論の文章を読み、理解したり考えたりしたことを文章にまとめたりする」言語活動は、他教科や日常生活の中でも求められている。そこで本単元では、自分の考えを根拠、具体的事実とともに書かせた上で、予め反論を予想するといった作業を取り入れ、説得力のある根拠を考えることができる力や、他者の考えのよい点を指摘したり助言したりしながら、自分の考えを見直したり深めたりする力を身に付けさせたい。

(2) 生徒の実態（男子17名 女子18名 計35名）

生徒は、1年次の「ちょっと立ち止まって」「幻の魚は生きていた」の学習において、中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などに着目しながら筆者の述べていることを読み、内容を要約する学習を行ってきた。また、2年次では、「モアイは語る」の学習において、文章全体と部分の関係や、具体的事例の役割などに注意して、筆者の主張を読む学習を行ってきた。このような学習を通して、筆者の主張を文章の構成や展開などに着目して読むことができるようになってきているが、書かれた内容について説得力のある根拠を基にして自分の考えをもつことには十分とは言えない。また、根拠を基にしない自分勝手な発想をもって考えを述べる生徒が多い状態にある。そこで、本単元では、説明的文章の中でも筆者がある事柄に関して自分の価値観を示した評論文を扱い、本文の内容理解や、筆者が自分の考えを述べるために文章構成を中心にどのような工夫をしているかをつかむ学習をした後に、自分の考えを形成させることで、自分の考えを見直したり深めたりする力を育てていきたい。

(3) 指導方針

- ・学習過程を把握しやすくするため、フラッシュカードなどの視覚教材を用いる。
- ・論理的思考力を高めるため、筆者の文章の構成や展開の工夫について自分の考えを形成させる。
- ・説得力のある考えを形成させるため、1単位時間ごとに「自分の考え＋一つの根拠と事実」→「自分の考え＋複数の根拠と事実」→「自分の考え＋複数の根拠と事実＋反対意見への反論」と継続的、段階的に論理的思考力を高めていく。
- ・自分の考えを論理的に形成するために、思考過程を可視化し、学習課題から自分が考えたことを順

序立てたり、俯瞰したりすることができるLACシートを用いる。

- ・批判的思考力を高めたり、自他の思考を広げ、深めたりするため、自分の思考過程を可視化したLACシートを基にグループで質問、意見、感想、評価などの助言を行わせる共有活動を設定する。
- ・グループでの共有場面での活動が円滑に進むようにするため、1グループ4人編成とし、個人で考えた根拠に説得力があるかについて、グループで検討させる。
- ・自分の考えの説得力を高めさせるため、LACシートから自分の考えや根拠を吟味させ、修正点や改善点を考えさせる。
- ・学習のまとめとして、LACシートの記述を基に、最も説得力があると判断した根拠の一つを選び、予想される反論とそれに伴う再反論を考え、400字程度の文章にまとめさせる。

3 研究との関わり

国立教育政策研究所から提案された「21世紀型能力」の中核とされる「論理的・批判的思考力」の学びを充実させるため、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説国語編では、考えの形成が、全領域の学習過程に位置付けられ、自分の考えを形成する学習過程をより重視するよう述べられている。本研究では、この考えの形成に着目し、「判断」「根拠」「具体的な事実」の3層の思考過程を構造化して自分の考えを形成・記述する論理的思考力や、互いの考えを交流することで、「再反論」「吟味」「推敲」を可視化して改善点を見いだす批判的思考力を高めることを目指す。そのため、考えを形成し、記述する場面や共有場面の思考過程を可視化したLACシートを開発し、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の様々な領域で汎用的に活用させ、筋道を立てて考えを形成したり、他者の助言から自分の考えを広げたり深めたりすることの有効性を明らかにする。

「読むこと」の学習における本単元においても、まず学習課題に基づいて自分の考えを形成、記述する場面において、LACシートの前半部である「判断」「根拠」「具体的な事実」を構造化した部分に記述させ、自分の考えを筋道を立てて考えられるようにする。次に、根拠の明確さや表現の工夫、論理の展開について共有場面で、LACシートの後半部である反論や助言を可視化した部分を活用してグループ活動をさせることにより、他者の意見のよい点を指摘したり助言したりしながら、自分の思考過程を意識的に吟味し、自他の考えを広げ、深められるようにする。本単元の学習を通して、「論理的・批判的思考力」を高めるために「読むこと」の学習においても、LACシートを取り入れる効果を検証していきたいと考える。

4 単元の目標

- ・意見と根拠など、情報と情報の関係について理解することができる。（知識及び技能）（2）ア
- ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。（思考力・判断力・表現力）C（1）オ
- ・評論の文章を読んで内容や表現の仕方について考え、進んで自分のものの見方や考え方を広げることができる。（学びに向かう力、人間性等）

5 指導と評価の計画（全4時間予定）

※「君は『最後の晩餐』を知っているか」の内容読解については直前の単元で学習済み

評価規準	知識・技能	意見と根拠など情報と情報の関係について理解している。 (2) ア
	思考・判断・表現	「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 C (1) オ
	主体的に学習に取り組む態度	評論の文章を読んで内容や表現の仕方について考え、進んで自分のものの見方や考え方を広げようとしている。

時程 (次)	過程	学習活動	評価の観点			評価規準、評価方法等
			知	思	態	
第1時	つかむ	単元の学習課題 筆者の工夫について自分の考えをもとう [本時の学習課題] 説得力のある根拠を考えよう ・「君は『最後の晩餐』を知っているか」をどう思うかについて、自分の考えや説得力のある根拠を考える。		●	●	[思考・判断・表現] ・他者の考えのよい点を指摘したり助言したりしながら考えを共有し、自分の考えや根拠を見直したり深めたりしている。 (観察・LACシート) [主体的に学習に取り組む態度] ・説得力のある根拠を明確にして、自分の考えを広げようとしている。 (観察・LACシート)
第2時	追究する	[本時の学習課題] 説得力のある根拠をたくさん考えよう ・第1時のテーマについて、説得力のある根拠を複数考える。		●	●	[思考・判断・表現] ・他者の考えのよい点を指摘したり助言したりしながら考えを共有し、自分の考えや根拠を見直したり深めたりしている。 (観察・LACシート)
第3時		[本時の学習課題] 自分の考えに対する反論を予想し、再反論を考えよう ・自分の考えに対する反論を予想し、再反論を考える。		●	●	[思考・判断・表現] ・他者の考えのよい点を指摘したり助言したりしながら考えを共有し、自分の考えや根拠を見直したり深めたりしている。 (観察・LACシート)
第4時	まとめる	[本時の学習課題] 根拠を明確にして、自分の考えをまとめよう ・学習のまとめとして、LACシートの記述を基に、「君は『最後の晩餐』を知っているか」についての自分の考えを400字程度の文章にまとめる。	○	○	○	[知識・技能] ・明確な根拠に基づき、論理的に自分の考えをまとめている。 (観察・LACシート) [思考・判断・表現] ・テーマについての自分の考えを文章にまとめることで、自分の考えを広げたり深めたりしている。 (観察・LACシート) [主体的に学習に取り組む態度] ・説得力のある根拠を明確にして、自分の考えを広げようとしている。 (観察・LACシート)

(○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

6 本時の展開 (1/4)

- (1) **ねらい** 共有場面で他者の考えのよい点を指摘したり助言したりしながら他者と共有し、説得力のある根拠や、裏付けとなる事実を考えることができる。
- (2) **準備** 教科書、掲示資料、LACシート、検討会進行表兼振り返りシート
- (3) **展開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 ◇評価 ◎研究上の手立て ※努力を要する状況（C）への手立て
1 学習課題と手順を確認する。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション用ソフトを用い、「君は『最後の晚餐』を知っているか」の内容を簡単に振り返らせ、教科書 P163「学習の窓 評論を読む」に着目させて、学習課題を意識させる。
【本時の学習課題】 説得力のある根拠を考えよう		
2 テーマに対する自分の考えと根拠、具体的事実をLACシートにまとめる。(個人)		◎説得力のある根拠を考えさせるため、具体的な体験や例をLACシートにまとめるよう指示する。
【テーマ】 「君は『最後の晚餐』を知っているか」をどう思うか		
(予想される生徒の反応) <ul style="list-style-type: none"> ・共感できる。なぜなら「最後の晚餐」は絵画の科学を初めて取り入れたから。何かを初めて成し遂げることは「カッコいい」。 ・共感できない。なぜなら「最後の晚餐」の魅力はこの三つだけではないと思うから。何事も一つの情報だけで判断するのは危険だ。 3 個人で考えた根拠を基にグループで検討する。(グループ) (予想される生徒の反応) <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考えだけで「最後の晚餐」の魅力を判断するのは説得力があるのか。 ・「最後の晚餐」についてどう思うかではなく、筆者の考えについてどう思うか考えるべき。 	30分	<ul style="list-style-type: none"> ※うまく書けない生徒には考え方のヒントとして、キーワードを複数提示し、考えの形成に広がりをもたせられるようにする。 ・個人で形成された考えを共有させるため、1グループ4人編成とし、それぞれ司会を決めさせ、個人で考えた根拠に説得力があるかについて、グループで検討させる。 ・共有場面での活動が円滑に進むようにするため、進行表を用いる。 ◎より説得力のある根拠を導き出させるため、個人で考えた自分の考えや根拠を、発表者が発表した後、グループのメンバーから感想、評価（○）、意見（×）、質問（?）などの助言を伝え、発表者がそれに答えるというディスカッションを行い、助言者が付箋紙に記入したものを、グループのメンバーごとに、相手のLACシートのアドバイス欄に貼るよう指示する。

<p>4 自分の考えや根拠の課題を見付け、修正や改善をし、本時の振り返りをする。(個人) (予想される生徒の反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> 根拠には自分の具体的な体験などを入れると説得力が増す。 根拠が一つだと説得力がない。 グループの人から指摘されたことを基に根拠を見直したい。 	10分	<p>◎ 自他の考えを明確にさせるため、グループでの共有活動から、自分の考えや根拠を吟味させ、修正点や改善点をLACシートに朱書きさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>[思考・判断・表現]</p> <p>◇ 他者の考えのよい点を指摘したり助言したりしながら考えを共有し、自分の考えや根拠を見直したり深めたりしている。 〈観察・LACシート(読む) [記]〉</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <p>◇ 説得力のある根拠を明確にして自分の考えを広げようとしている。 〈観察・LACシート [記]〉</p> </div> <p>・ 本時の改善点を基に、自分の考えの説得力を高めさせるため、次時は根拠と具体的事実を複数考えることを伝える。</p>
<p>5 次時の確認と予告をする。</p>		

6 本時の展開 (2 / 4)

- (1) **ねらい** 共有場面で他者の考えのよい点を指摘したり助言したりしながら他者と共有し、説得力のある根拠や、裏付けとなる事実を複数考えることができる。
- (2) **準備** 教科書、掲示資料、LACシート、検討会進行表兼振り返りシート、ヒントカード
- (3) **展開**

学習活動 ・ 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 ◇ 評価 ◎ 研究上の手立て ※ 努力を要する状況 (C) への手立て
<p>1 前時を振り返り、本時の学習課題と手順を確認する。</p>	10分	<p>・ 本時の学習課題を導くため、LACシートの記述内容を振り返りながら前時の終末で修正した内容を確認させ、説得力のある根拠と具体的事実との関連を意識させる。</p>
<p>[本時の学習課題] 説得力のある根拠をたくさん考えよう</p>		
<p>2 テーマに対する自分の考えと複数の根拠を、LACシートにまとめる。(個人)</p>		<p>◎ 説得力のある根拠を複数考えさせるため、自分の考えに基づいた明確な根拠と、それを裏付ける具体的な体験や例を合計三つ、LACシート第2時欄にまとめるよう指示する。</p>
<p>[テーマ] 「君は『最後の晚餐』を知っているか」をどう思うか</p>		
<p>(予想される生徒の反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> 共感できる。筆者はレオナルドの生き方から調べ、「最後の晚餐」の魅力を述べているから。 共感できる。筆者は美術の研究ではない視点から論理を展開しているのだから。 	30分	<p>※ うまく書けない生徒には、考え方のヒントとして、キーワードを複数提示し、考えの形成に広がりをもたせられるようにすると共に、前時に他の生徒が考えた根拠、具体的事実の中から説得力のあるものをピックアップし、モデル提示する。またモデル提示した内容をカード型にしたヒントカード</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・共感できない。筆者は美術の専門家ではないので説得力がないから。 ・共感できない。本当の魅力は「最後の晩餐」を描いたレオナルド本人にしか分からないと思うから。 <p>3 個人で考えた根拠を基にグループで検討する。(グループ) (予想される生徒の反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当時の人々はレオナルドの生き方など知らなくとも「この絵はすごい」と思ったはずだが、そのようなことが書かれていないので説得力があるとは言えない。 ・絵を評価するのは描いた本人ではなく絵を見る人なので、筆者のような感じ方があっていいと思う。 		<p>を用意し、必要な生徒に配付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人で形成された考えを共有させるため、1グループ4人編成とし、それぞれ司会を決めさせ、個人で考えた根拠に説得力があるかについて、グループで検討させる。 ・共有場面での活動が円滑に進むようにするため、進行表を用いる。 <p>◎より説得力のある根拠を導き出させるため、個人で考えた自分の考えや根拠を、発表者が発表した後、グループのメンバーから感想、評価(○)、意見(×)、質問(?)などの助言を伝え、発表者がそれに答えるというディスカッションを行い、助言者が付箋紙に記入したものを、グループのメンバーごとに、相手のLACシートのアドバイス欄に貼るよう指示する。</p>
<p>4 自分の考えや根拠の課題を見付け、修正や改善をし、本時の振り返りをする。(個人) (予想される生徒の反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三つの根拠のうち、筋道がしっかりしている内容のものは説得力がある。 ・自分の考えに対する質問や反論を予想しておけば、共有場面での活動でも困らない。 <p>5 次時の確認と予告をする。</p>	<p>10分</p>	<p>◎自他の考えを明確にさせるため、グループでの共有活動から、自分の考えや根拠を吟味させ、修正点や改善点をLACシートに朱書きさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[思考・判断・表現]</p> <p>◇他者の考えのよい点を指摘したり助言したりしながら考えを共有し、自分の考えや根拠を見直したり深めたりしている。</p> <p style="text-align: right;">〈観察・LACシート(読む) [記]〉</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <p>◇説得力のある根拠を明確にして自分の考えを広げようとしている。</p> <p style="text-align: right;">〈観察・LACシート [記]〉</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の改善点を基に、自分の考えの説得力を更に高めさせるため、次時は予想される反論と再反論を考えることを伝える。

6 本時の展開 (3/4)

(1) **ねらい** 前時までのLACシートを基に他者からの反論を予想し、再反論を考え、最終検討会を行うことで、自分の考えを広げ深めることができる。

(2) **準備** 教科書、掲示資料、LACシート、検討会進行表兼振り返りシート

(3) **展開**

<p>学習活動</p> <p>・予想される生徒の反応</p>	<p>時間</p>	<p>指導上の留意点及び支援・評価</p> <p>◇評価 ◎研究上の手立て</p> <p>※努力を要する状況(C)への手立て</p>
--------------------------------	-----------	--

<p>1 前時を振り返り、本時の学習課題と手順を確認する。</p>	<p>10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習課題を導くため、前時までに使用したLACシートの記述内容を振り返りながら前時の終末で修正した内容をLACシート第3時欄に転記させ、説得力のある根拠とそれを裏付ける具体的事実との関連を意識させる。 ・転記の際には説得力のある根拠とそれを裏付ける具体的事実の優先順位を決めさせ、LACシート第3時欄の根拠①から記入するよう指示する。
<p>[本時の学習課題] 自分の考えに対する反論を予想し、再反論を考えよう</p>		
<p>2 前時までにまとめたテーマに対する自分の考えと根拠を確認し、そこから予想される反論、質問やそれに対する再反論を考え、LACシートのアドバイス欄にまとめる。(個人)</p>	<p>15分</p>	<p>◎他者の考えのよい点を指摘したり助言したりしながら「再反論」「吟味」「推敲」を可視化して説得力のある考えを形成させるため、前時までに記述したLACシートを参照させ、予想される反論、質問やそれに対する再反論を考えさせる。</p>
<p>【テーマ】 「君は『最後の晚餐』を知っているか」をどう思うか</p>		
<p>(予想される生徒の反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「筆者の考えだけで『最後の晚餐』の魅力来判断していいのか」という質問に対しては、「美術以外の立場から魅力を伝えているのは新鮮だと思う」 ・『「かっこいい」か『かっこよくない』で名画を判断するのはどうかと思う」という反論に対しては、「絵画は一概に優劣は付けられないので、普段使っている言葉で表現したのはよいと思う」 		<p>※うまく書けない生徒には、前時までのLACシートの記述を参照させ、他者の助言と一緒に貼られた付箋紙から再反論を考えるよう指示する。</p>
<p>3 最終検討会を行う。 (第2時とは別のグループ)</p>	<p>10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・より多様な考えに触れさせるため、前時までは異なるグループを形成させる。 ・検討会が円滑に進むようにするため、1グループ4人編成とし、それぞれ司会、記録の役割を決めさせ行わせる。
<p>4 最終検討会の内容を報告する。 (全体)</p>	<p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会が円滑に進むようにするため、進行表を用いる。 ・自他の考えを広げ深めさせるため、検討会の最後で、MVP(最も説得力のある考えが導き出せた人)を決め、検討会で発言した説得力のある根拠や反論、再反論について全体に報告させる。
<p>5 自分の考えや根拠の課題を見付け、修正や改善をし、本時の振り返りをする。(個人)</p>		<p>◎自他の考えを明確にさせるため、グループでの共有活動から、自分の考えや根拠を吟味させ、最終的な修正点や改善点をLACシートに朱書きさせ</p>

<p>(予想される生徒の反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな視点から根拠を考えると説得力が増す。 ・ グループの人の助言から自分の考えや根拠を見直し、説得力のあるものになった。 ・ 反論や再反論を予め考えることで自分の考えも見直せることになる。 	10分	<p>る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[思考・判断・表現]</p> <p>◇他者の考えのよい点を指摘したり助言したりしながら考えを共有し、自分の考えや根拠を見直したり深めたりしている。</p> <p style="text-align: center;">〈観察・LACシート(読む) [記]〉</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <p>◇説得力のある根拠を明確にして自分の考えを広げようとしている。</p> <p style="text-align: center;">〈観察・LACシート [記]〉</p> </div>
6 次時の確認と予告をする。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 次時は学習のまとめとして、LACシートの記述を基に、自分の考えを 400字程度の文章にまとめることを伝える。

6 本時の展開 (4 / 4)

- (1) **ねらい** 筆者の文章構成や展開の工夫について、自分の考えをまとめることができる。
- (2) **準備** 教科書、掲示資料、LACシート、原稿用紙、振り返りシート
- (3) **展開**

<p>学習活動</p> <p>・ 予想される生徒の反応</p>	<p>時間</p>	<p>指導上の留意点及び支援・評価</p> <p>◇評価 ◎研究上の手立て</p> <p>※努力を要する状況 (C) への手立て</p>
1 前時を振り返り、本時の学習課題と手順を確認する。	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習課題を導くため、前時に使用したLACシートの記述内容を振り返らせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p>[本時の学習課題]</p> <p>根拠を明確にして、自分の考えをまとめよう</p> </div>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p>【テーマ】</p> <p>「君は『最後の晩餐』を知っているか」をどう思うか</p> </div>		
2 根拠を明確にして、自分の考えをまとめる。(個人)	25分	<p>◎学習のまとめとして、LACシートの記述を基に、最も説得力があると判断した根拠を一つ選び、予想される反論とそれに伴う再反論を考え、400字程度の文章にまとめることを指示する。</p> <p>※うまく書けない生徒には、モデルを提示し、LACシートの根拠①～アドバイス欄の順番に書くことを指示する。また、モデル提示した内容をカード型にしたヒントカードを用意し、必要な生徒に配付する。</p>
3 根拠を明確にしてまとめた文章を読み合う。 (隣席同士などの小グループ)	10分	<p>◎論理的・批判的思考力の高い考えに触れさせるため、小グループの活動の中で説得力のある考えであると称賛を受けたものは教師が意図的指名をし、全体に発表させ、学級全体で称賛していく。</p>

4 本単元の学習を振り返る。(個人)
 (予想される生徒の反応)

- ・自分の考えをまとめることで、筆者の文章構成や展開の工夫のうまさにより分かるようになった。
- ・L A Cシートを見比べてみると、自分の考えがだんだん説得力のあるものになってきた。
- ・L A Cシートは1枚で考えの流れが分かり、使いやすかった。

10分

◎説得力のある根拠の見だし方や、他者の助言や反論から自分の考えを見直したり深めたりしたこと、L A Cシートの有効性について振り返りシートに記入させる。

[知識・技能]

◇明確な根拠に基づき、論理的に自分の考えをまとめている。 〈観察・まとめた文章〔記〕〉

[思考・判断・表現]

◇テーマについての自分の考えを、文章にまとめることで、自分の考えを広げ深めている。

〈観察・まとめた文章・振り返りシート

(読む)〔記〕〉

[主体的に学習に取り組む態度]

◇説得力のある根拠を明確にして自分の考えを広げようとしている。

〈観察・まとめた文章・振り返りシート〔記〕〉

グループ検討会進行表（第1時・第2時・第3時）

2年 組 番 名前 _____

①役割分担をしよう

・司会者を決める

・記録者を決める（第3時のみ）

②進め方

・司会者の左隣の人から意見、根拠、具体的事実を発表する。

（発表が終わったら・・・）

・発表者以外の人が質問、反論、助言など考えて、ふせん紙に書く。

（グループのメンバーがだいたい書き終わったら・・・）

・司会者も含めて発表者に質問、反論、助言をする。

例 筆者の考えだけで「最後の晚餐」の魅力を判断していいのか？

（発言したらそのふせん紙を相手のLACシートにはる）

・発表者は質問や反論にその場で答える。

（以下、同じ流れで・・・）

例 「かっこいい」か「かっこよくない」かで名画を判断するのはどうかと思う。

・あまり質問や意見が出なかったら司会者が質問や反論をするか、他の人を指す。

・一人が終わったら同じ流れで次の人の考えを検討する。

・全員検討し終わったらMVP（最も説得力のある考え）を決める。（第3時のみ）

1時間目の振り返り：学習課題〈説得力のある根拠を考えよう〉

2時間目の振り返り：学習課題〈説得力のある根拠をたくさん考えよう〉

3時間目の振り返り：学習課題〈自分の考えに対する反論を予想し、再反論を考えよう〉

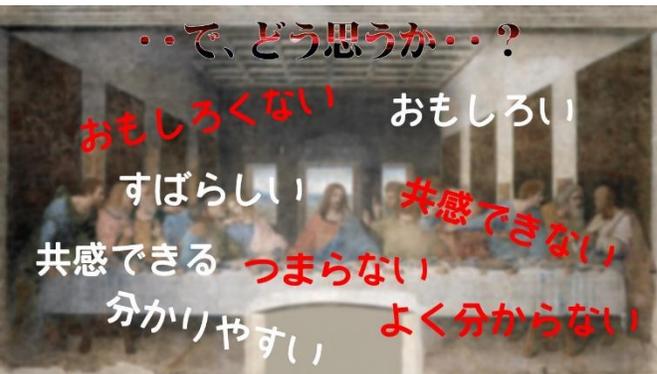
単元を終えての振り返り：学習課題〈自分の考えをまとめよう〉

2年 組 番 名前 _____

説得力のある根拠を考えられたか。	○ ○ △	他の人の助言から自分の考えを深められたか。	○ ○ △
理由			
L A Cシートを使ったことで説得力のある根拠が考えられたり、自分の考えを深められたか		5・4・3・2・1	
理由			

ヒントカード

前時までの生徒の記述からピックアップしたものを、テレビモニター等を使用し、全体で紹介した後、個人思考の時間に使用。第2時以降、うまく根拠・事実が考えられない生徒に対して、手のひらサイズに印刷したヒントカードを必要な生徒に配付する。



根拠例

「かっこいい」という表現

根拠例

筆者が提示した三つの
絵画の科学

根拠例

修復後が本当の
「最後の晚餐」

根拠例

言葉の使い方
や
文体



具体的事実 =
具体例

自分の経験や身近な話題で考える

④ おもしろい

④根見ただけの第一印象で素晴らしいと決めているのではなく、ストーリーや描き方にも着目しているから。

④事作品のストーリーと描かれた理由などを聞くとおもしろいと感じる。

④ おもしろい

④根筆者が提示した三つの絵画の科学のよさが伝わってきたから。

④事三つの絵画の科学について詳しく書いてあると分かりやすい。

④ 共感できない

④根筆者の「かっこいい」の意味がよく分からないから。三つの科学が使われている絵はすべて「かっこいい」と言えるのか。

④事筆者は他にも「魅力的」「ドラマチック」などいろいろな表現をしているので「かっこいい」じゃなくてもいいのでは？

④ 共感できない

④根筆者があげた三つの科学以外にも、たくさんの技術を使っていると思うから。

④事この三つだけをあげて、都合よく説明している。

構成の仕方

自分の考え

一番説得力のある根拠と事実

予想される反論や質問

反論や質問に対する考えや答え

自分の考え・まとめ

私はこの文章を読み、筆者の考えに共感で
きる。

なぜならば、中学生にも分かりやすい文体
で書かれており、3つの技法の説明も具体例
を入れながら説明されているからだ。また、
「かっこいい」という簡単な言葉で「最後の
晚餐」を評価していて、私もこの絵画に対し
て親しみをもつことができた。事実、テレビ
CMなどでも分かりやすい表現や親しみやす
いフレーズで説明された方が理解できるし、
印象にも残る。

たしかに、世界的な名画を「かっこいい」
という簡単な言葉で評価をしてしまうのは、
「最後の晚餐」の価値を下げてしまうのでは
ないかという意見もあるかもしれない。

しかし、多くの人に絵画のすばらしさを知
ってもらうためには、誰でも理解できる言葉
で説明したほうが良いのではないだろうか。
筆者の説明で多くの中学生が「最後の晚餐」
のすばさを知ることになると思う。

国語科学習指導案

令和〇年〇月〇日（〇曜日）第〇校時 3年〇組教室 指導者 後閑 大

1 単元名 説得力のある文章を書こう 批評文を書く

2 考察

(1) 教材観

近年、私たちの生活を取り巻く社会環境が急速に変化してきている。国際化や情報化の進展に伴って、自分の考えを論理的に、かつ説得力をもった言葉で表現する能力や、自分の考えや主張を的確にまとめて発信する能力を育てることが、これまで以上に求められている。本単元は、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説国語編第3学年、2【思考力・判断力・表現力等】B「書くこと」（1）ウ「表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること」オ「論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと」に基づいて設定している。これらの事項を身に付けるための言語活動例として、中学校学習指導要領解説（平成29年告示）国語編第3学年、2【思考力・判断力・表現力等】B「書くこと」（2）のアでは、「関心のある事柄について批評するなど、自分の考えを書く活動」と示されている。従って、本教材は、批評文を書くことを通して、対象をよく観察・分析し、根拠をもって判断を下すことや、他者の助言から自分の考えを吟味することによって文章に説得力をもたせることをねらいとしている。中学校学習指導要領（平成29年告示）解説によれば、『批評する』とは、対象とする事柄について、そのものの価値などについて、根拠をもって論じたり評価したりすることとある。批評文を書くことをねらいとすることで、対象をよく観察・分析でき、主観ではなく客観的な説得力のある根拠をもたせて判断をさせることが可能であると考えられる。また、「主体的・対話的で深い学び」を実現するためには、個人の考えに変容が生まれる学習過程を設定する必要がある。対話を通して、自分の考えを再考する機会をもつことで、話題について自分の考えをもち、確かな論拠に基づき、筋道を立てて分かりやすく意見を述べることができる論理的思考力や、自他の考えを吟味することで、物事を多様な観点から考察し、自他の考えを広げ、深めることができる批判的思考力を高めたいと考える。

(2) 生徒の実態（男子19名 女子16名 計35名）

「書くこと」についてはこれまで、絵画についての鑑賞文、物語を読んだ感想文、説明的文章の要約文、短歌についての情景文、調べたことをまとめたレポートなど様々な様式の文章を書いてきている。6月に実施された教研式 NRT 標準学力検査の結果においては、「課題を決め、構成を工夫し書くこと」や「効果的に伝わるように書くこと」の領域では、全国平均をわずかに上回っていた。全体的には「書くこと」に少なからず抵抗を感じている生徒が多いものの、行事作文や道徳の授業後の作文などでは、感性豊かな文章を書く生徒もいる。しかし、筋道を立てて、相手を納得させるような根拠を示したり、論理的に文章を組み立てたりして書く力は十分とは言えず、自分の意見や根拠が具体性や客観性に欠けるため説得力に乏しく、主観的な意見を述べることに終始してしまい、読み手を意識した考えが書ける生徒は少ない。今回批評文を書くことに取り組むことで、自分の意見を読み手に納得してもらうためには、分かりやすい根拠が必要であることや根拠となる客観的な事実を基に、筋道の通った論を展開できるようにすることが大切であるということを学ばせたい。また、3年生は本格的な進路選択の時期に入るため、必要感のある課題として、過去に駅構内に掲示された受験生を励ますポスターを批評させる。様々な観点から分析できるポスターを基に批評文を書かせることで、多角的な視点で説得力のある根拠を導き出させ、論理的・批判的思考力を高めていきたい。さらに、本授業で高めた論理的・批判的思考力を、今後の受験に向けた志願理由書の作成指導にもつなげていきたいと考える。

(3) 指導方針

- ・学習過程を把握しやすくするため、フラッシュカードなどの視覚教材を用いる。
- ・必要感のある課題として、駅構内に掲示された受験生を励ますポスターを批評させる。

- ・論理的思考力を高めるため、課題のポスターを様々な観点から分析・評価させ、説得力のある考えを形成させる。
- ・説得力のある考えを形成させるため、1単位時間ごとに「自分の考え＋一つの根拠と事実（引用）」→「自分の考え＋複数の根拠と事実（引用）」→「自分の考え＋複数の根拠と事実（引用）＋反対意見への反論」と継続的、段階的に論理的思考力を高めていく。
- ・自分の考えを論理的に形成するために、思考過程を可視化し、学習課題から自分が考えたことを順序立てたり、俯瞰したりすることができるLACシートを用いる。
- ・批判的思考力を高めたり、自他の思考を広げ、深めたりするため、自分の思考過程を可視化したLACシートを基にグループで質問、意見、感想、評価などの助言を行わせる共有活動を設定する。
- ・グループでの共有活動が円滑に進むようにするため、1グループ4人編成とし、個人で考えた根拠に説得力があるかについて、グループで検討させる。
- ・自分の考えの説得力を高めさせるため、LACシートから自分の考えや根拠を吟味させ、修正点や改善点を考えさせる。
- ・学習のまとめとして、LACシートの記述から、より説得力があると判断した根拠を二つ選び、予想される反論とそれに伴う再反論を考え、テーマに対する批評文として600字程度の文章にまとめさせる。

3 研究との関わり

国立教育政策研究所から提案された「21世紀型能力」の中核とされる「論理的・批判的思考力」の学びを充実させるため、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説国語編では、考えの形成が、全領域の学習過程に位置付けられ、自分の考えを形成する学習過程をより重視するよう述べられている。本研究では、この考えの形成に着目し、「判断」「根拠」「具体的な事実」の3層の思考過程を構造化して自分の考えを形成・記述する論理的思考力や、互いの考えを交流することで、「再反論」「吟味」「推敲」を可視化して改善点を見いだす批判的思考力を高めることを目指す。そのため、考えを形成し、記述する場面や共有場面の思考過程を可視化したLACシートを開発し、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の様々な領域で汎用的に活用させ、筋道を立てて考えを形成したり、他者の助言から自分の考えを広げたり深めたりすることの有効性を明らかにする。7月に実施した「話すこと・聞くこと」の学習における授業実践では、LACシートは1枚のシートで自分の思考過程を可視化できるため、利便性が高く、説得力のある考えを形成させることだけでなく、LACシートを活用して他者と考えを共有したりディスカッションのメモとして使ったりと論理的・批判的思考力を高めることに有効であった。

「書くこと」の学習における本単元においても、まず学習課題に基づいて自分の考えを形成、記述する場面において、LACシートの前半部である「判断」「根拠」「具体的な事実」を構造化した部分に記述させ、自分の考えを筋道を立てて考えられるようにする。次に、根拠の明確さや表現の工夫、論理の展開について共有活動を行う場面で、LACシートの後半部である反論や助言を可視化した部分を活用してグループ活動をさせることにより、他者の意見のよい点を指摘したり助言したりしながら、自分の思考過程を意識的に吟味し、自他の考えを広げ、深められるようにする。本単元の学習を通して、「論理的・批判的思考力」を高めるために「書くこと」の学習においても、LACシートを取り入れる効果を検証していきたいと考える。

4 単元の目標

- ・自分の立場や考えを明確にし、説得力のある文章にするために、ふさわしい語句を選び、適切に使うことができる。 (知識及び技能) (1) ウ
- ・「書くこと」において、表現の仕方を考え、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。 (思考力・判断力・表現力) B (1) ウ
- ・「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言を踏まえ、自分の文章のよい

- 点や改善点を見いだすことができる。 (思考力・判断力・表現力) B (1) オ
- ・ 社会生活の中の話題に関心を持ち、学習の見通しをもって自分の立場や伝えたい事柄を明確にして、説得力のある文章を書こうとしている。 (学びに向かう力、人間性等)

5 指導と評価の計画 (全4時間予定)

評価規準	知識・技能	自分の立場や考えを明確にし、説得力のある文章にするために、ふさわしい語句を選び、適切に使っている。 (1) ウ				
	思考・判断・表現	① 「書くこと」において、表現の仕方を考え、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。 B (1) ウ ② 「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言を踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 B (1) オ				
	主体的に学習に取り組む態度	社会生活の中の話題に関心を持ち、学習の見通しをもって自分の立場や伝えたい事柄を明確にして、説得力のある文章を書こうとしている。				
時程(次)	過程	学習活動	評価の観点			評価規準、評価方法等
			知	思	態	
第1時	つかむ	単元の学習課題 説得力のある批評文を書こう [本時の学習課題] 説得力のある根拠を考えよう ・ 受験生を励ますポスターの批評文を書くために、自分の考えや説得力のある根拠を考える。		●	●	[思考・判断・表現] ① ・ 自分の考えが分かりやすく伝わるように説得力のある根拠を考えている。 (観察・LACシート) [思考・判断・表現] ② ・ 論理の展開などについて、読み手からの助言を踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 (観察・LACシート) [主体的に学習に取り組む態度] ・ 社会生活の中の話題に関心を持ち、学習の見通しをもって自分の立場や伝えたい事柄を明確にして、説得力のある文章を書こうとしている。 (観察・LACシート)
		[本時の学習課題] 説得力のある根拠をたくさん考えよう ・ 第1時のテーマについて、説得力のある根拠を複数考える。		●	●	[思考・判断・表現] ① ・ 自分の考えが分かりやすく伝わるように説得力のある根拠を複数考えている。 (観察・LACシート) [思考・判断・表現] ② ・ 論理の展開などについて、読み手からの助言を踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 (観察・LACシート)

第3時		<p>[本時の学習課題] 反論を予想し、再反論を考えよう</p> <p>・自分の考えに対する反論を予想し、再反論を考える。</p>	● ●	<p>[思考・判断・表現] ①</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えが分かりやすく伝わるように論理の展開を考えている。 <p>(観察・LACシート)</p> <p>[思考・判断・表現] ②</p> <ul style="list-style-type: none"> 論理の展開などについて、読み手からの助言を踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 <p>(観察・LACシート)</p>
第4時	まとめる	<p>[本時の学習課題] 説得力のある批評文を書こう</p> <p>・学習のまとめとして、LACシートの記述を基に、テーマに対する批評文を600字程度の文章にまとめる。</p>	○ ○ ○	<p>[知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の立場や考えを明確にし、説得力のある文章にするために、ふさわしい語句を選び、適切に使うことができている。 <p>(観察・LACシート)</p> <p>[思考・判断・表現] ①</p> <ul style="list-style-type: none"> 表現の仕方を考え、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。 <p>(観察・LACシート)</p> <p>[思考・判断・表現] ②</p> <ul style="list-style-type: none"> 論理の展開などについて、読み手からの助言を踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 <p>(観察・LACシート)</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会生活の中の話題に関心をもち、学習の見通しをもって自分の立場や伝えたい事柄を明確にして、説得力のある文章を書こうとしている。 <p>(観察・LACシート)</p>

(○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

6 本時の展開 (1/4)

- (1) **ねらい** 共有場面で他者の考えのよい点を指摘したり助言したりしながら他者と共有し、説得力のある根拠や、裏付けとなる事実を考えることができる。
- (2) **準備** 教科書、掲示資料、LACシート、検討会進行表兼振り返りシート
- (3) **展開**

学習活動 ・予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 ◇評価 ◎研究上の手立て ※努力を要する状況 (C) への手立て
1 学習課題と手順を確認する。	10分	・説得力のある文章が書けるようにするため、教科書に記述されている批評文の特徴や説得力のある

		根拠の考え方について意識させる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[本時の学習課題] 説得力のある根拠を考えよう</p> </div>		
2	<p>テーマに対する自分の考えと根拠、具体的事実をLACシートにまとめる。(個人)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【テーマ】 受験生を励ますポスターを批評しよう</p> </div>	<p>◎説得力のある根拠を考えさせるため、具体的な体験や例、文献等の引用をLACシートにまとめるよう指示する。</p>
	<p>(予想される生徒の反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よく伝わると思う。なぜならポスターに使われているキャッチコピーが簡単な言葉で書かれ、平仮名と片仮名をうまく使い分けており、見る人の目を引くから。まずは多くの人に見てもらわなければ始まらない。 ・好ましくない。なぜならキャッチコピーのダジャレが受験や受験勉強を軽い印象にさせ、勉強を頑張ってきたのに入試に落ちた人は不愉快になると思うから。 	<p>30分</p> <p>※うまく書けない生徒には考え方のヒントとして、批評するための根拠が考えやすい観点のキーワードを複数提示し、考えの形成に広がりをもたせられるようにする。</p>
3	<p>個人で考えた根拠を基にグループで検討する。(グループ)</p> <p>(予想される生徒の反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見る人の目を引いても、一目見て何のポスターか分からなければ、多くの方はスルーしてしまうのではないか。 ・文章をよく読めば受験生を励ましている内容だと分かるし、落ち込んでいるときは明るく励まされた方がよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で形成された考えを共有させるため、1グループ4人編成とし、それぞれ司会を決めさせ、個人で考えた根拠に説得力があるかについて、グループで検討させる。 ・共有活動が円滑に進むようにするため、進行表を用いる。 <p>◎より説得力のある根拠を導き出させるため、個人で考えた自分の考えや根拠を発表者が発表した後、グループのメンバーから感想、評価(○)、意見(×)、質問(?)などの助言を伝え、発表者がそれに答えるというディスカッションを行い、助言者が付箋紙に記入したものを、グループのメンバーごとに、相手のLACシートのアドバイス欄に貼るよう指示する。</p>
4	<p>自分の考えや根拠の課題を見付け、修正や改善をし、本時の振り返りをする。(個人)</p>	<p>◎自他の考えを明確にさせるため、グループでの共有活動から、自分の考えや根拠を吟味させ、修正点や改善点をLACシートに朱書きさせる。</p>

<p>(予想される生徒の反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠には自分の具体的な体験などを入れると説得力が増す。 ・根拠が一つだと説得力がない。 ・事実と意見は分けた方が分かりやすい。 ・グループの人から指摘されたことを基に根拠を見直したい。 	10分	<p>[思考・判断・表現] ①</p> <p>◇自分の考えが分かりやすく伝わるように説得力のある根拠を考えている。</p> <p style="text-align: center;">〈観察・LACシート(書く)〔記〕〉</p> <p>[思考・判断・表現] ②</p> <p>◇論理の展開などについて、読み手からの助言を踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。</p> <p style="text-align: center;">〈観察・LACシート(書く)〔記〕〉</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <p>◇社会生活の中の話題に関心を持ち、学習の見通しをもって自分の立場や伝えたい事柄を明確にして、説得力のある文章を書こうとしている。</p> <p style="text-align: center;">〈観察・LACシート〔記〕〉</p>
5 次時の確認と予告をする。		<ul style="list-style-type: none"> ・本時の改善点を基に、自分の考えの説得力を高めさせるため、次時は根拠と具体的事実を複数考えることを伝える。

6 本時の展開 (2/4)

- (1) **ねらい** 共有場面で他者の考えのよい点を指摘したり助言したりしながら他者と共有し、説得力のある根拠や、裏付けとなる事実を複数考えることができる。
- (2) **準備** 教科書、掲示資料、LACシート、検討会進行表兼振り返りシート、ヒントカード
- (3) **展開**

学習活動 ・予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 ◇評価 ◎研究上の手立て ※努力を要する状況(C)への手立て
1 前時を振り返り、本時の学習課題と手順を確認する。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習課題を導くため、前時に使用したLACシートの記述内容を振り返りながら前時の終末で修正した内容を確認させ、説得力のある根拠と具体的事実との関連を意識させる。
<p>【本時の学習課題】 説得力のある根拠をたくさん考えよう</p>		
2 テーマに対する自分の考えと複数の根拠を、LACシートにまとめる。(個人)		◎説得力のある根拠を複数考えさせるため、自分の考えに基づいた明確な根拠と、それを裏付ける具体的な体験や例、文献等の引用を合計三つ、LACシート第2時欄にまとめるよう指示する。
<p>【テーマ】 受験生を励ますポスターを批評しよう</p>		
<p>(予想される生徒の反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・励まされる。キャッチコピーの「すべては」という言葉が、自分一人ではないんだと感じるから。 	30分	<ul style="list-style-type: none"> ※うまく書けない生徒には、考え方のヒントとして、批評するための根拠が考えやすい観点のキーワードを複数提示し、考えの形成に広がりをもたせ

<ul style="list-style-type: none"> ・おもしろいと思う。ダジャレや踏んだら滑りそうなバナナの画像と受験生を励ます内容とのギャップが印象に残るから。 ・不謹慎だと思う。受験生に「落ちる」「滑る」は禁物だと思うから。 <p>3 個人で考えた根拠を基にグループで検討する。(グループ)</p> <p>(予想される生徒の反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見る人の印象には残るかもしれないが、ポスターが本当に伝えたいメッセージが伝わらなければ意味がないのではないか。 ・キャッチコピー自体は不謹慎な内容ではないし、CMではあえて逆の意味のことを伝えて見る人を惹き付け、人気が出ることもある。 	<p>られるようにすると共に、前時に他の生徒が考えた根拠、具体的事実の中から説得力のあるものをピックアップし、モデル提示する。また、モデル提示した内容をカード型にしたヒントカードを用意し、必要な生徒に配付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人で形成された考えを共有させるため、1グループ4人編成とし、それぞれ司会を決めさせ、個人で考えた根拠に説得力があるかについて、グループで検討させる。 ・共有活動が円滑に進むようにするため、進行表を用いる。 <p>◎より説得力のある根拠を導き出させるため、個人で考えた自分の考えや根拠を発表者が発表した後、グループのメンバーから感想、評価(○)、意見(×)、質問(?)などの助言を伝え、発表者がそれに答えるというディスカッションを行い、助言者が付箋紙に記入したものを、グループのメンバーごとに、相手のLACシートのアドバイス欄に貼るよう指示する。</p>
<p>4 自分の考えや根拠の課題を見付け、修正や改善をし、本時の振り返りする。(個人)</p> <p>(予想される生徒の反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三つの根拠のうち、筋道がしっかりしている内容のものは説得力がある。 ・自分の考えに対する質問や反論を予想しておけば、共有活動でも困らない。 <p>5 次時の確認と予告をする。</p>	<p>10分</p> <p>◎自他の考えを明確にさせるため、グループでの共有活動から、自分の考えや根拠を吟味させ、修正点や改善点をLACシートに朱書きさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[思考・判断・表現] ①</p> <p>◇自分の考えが分かりやすく伝わるように説得力のある根拠を複数考えている。</p> <p style="text-align: right;">〈観察・LACシート(書く)〔記〕〉</p> <p>[思考・判断・表現] ②</p> <p>◇論理の展開などについて、読み手からの助言を踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。</p> <p style="text-align: right;">〈観察・LACシート(書く)〔記〕〉</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <p>◇社会生活の中の話題に関心をもち、学習の見通しをもって自分の立場や伝えたい事柄を明確にして、説得力のある文章を書こうとしている。</p> <p style="text-align: right;">〈観察・LACシート〔記〕〉</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の改善点を基に、自分の考えの説得力を更に高めさせるため、次時は予想される反論と再反論を考えることを伝える。

6 本時の展開 (3/4)

- (1) **ねらい** 前時までのLACシートを基に他者からの反論を予想し、再反論を考え、最終検討会を行うことで、自分の考えを広げ深めることができる。

(2) 準備 教科書、掲示資料、LACシート、検討会進行表兼振り返りシート

(3) 展開

学習活動 ・予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 ◇評価 ◎研究上の手立て ※努力を要する状況(C)への手立て
1 前時を振り返り、本時の学習課題と手順を確認する。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習課題を導くため、前時までに使用したLACシートの記述内容を振り返りながら前時の終末で修正した内容をLACシート第3時欄に転記させ、説得力のある根拠とそれを裏付ける具体的事実との関連を意識させる。 ・転記の際には説得力のある根拠とそれを裏付ける具体的事実の優先順位を決めさせ、LACシート第3時欄の根拠①から記入するよう指示する。
【本時の学習課題】 自分の考えに対する反論を予想し、再反論を考えよう		
2 前時までにまとめたテーマに対する自分の考えと根拠を確認し、そこから予想される反論、質問やそれに対する再反論を考え、LACシートのアドバイス欄にまとめる。(個人)	15分	◎他者の考えのよい点を指摘したり助言したりしながら「再反論」「吟味」「推敲」を可視化して説得力のある考えを形成させるため、前時までに記述したLACシートを参照させ、予想される反論、質問やそれに対する再反論を考えさせる。
【テーマ】 受験生を励ますポスターを批評しよう		
(予想される生徒の反応) <ul style="list-style-type: none"> ・「ポスターが本当に伝えたいメッセージが、見る人に伝わらなければ意味がないのではないか」という質問に対しては、「ポスターの内容がよい内容であっても、誰も見てくれないと伝わりようがないと思う」 ・「キャッチコピー自体は不謹慎な内容ではない」という反論に対しては、「現代社会はコンプライアンスを守らないとすぐに炎上してしまうので、繊細な内容は特に気を遣わなければいけない」 		※うまく書けない生徒には、前時までのLACシートの記述を参照させ、他者の助言と一緒に貼られた付箋紙から再反論を考えるよう指示する。
3 最終検討会を行う。 (第2時とは別のグループ)	15分	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会が円滑に進むようにするため、1グループ4人編成とし、それぞれ司会、記録の役割を決めさせ行わせる。 ・検討会が円滑に進むようにするため、進行表を用いる。
4 最終検討会の内容を報告する。 (全体)		<ul style="list-style-type: none"> ・自他の考えを広げ深めさせるため、検討会の最後で、MVP(最も説得力のある考えが導き出した人)を決め、検討会で発言した説得力のある根拠や反論、再反論について全体に報告させる。

<p>5 自分の考えや根拠の課題を見付け、修正や改善をし、本時の振り返りをする。(個人) (予想される生徒の反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな視点から根拠を考えると説得力が増す。 ・グループの人の助言から自分の考えや根拠を見直し、説得力のあるものになった。 ・反論や再反論を予め考えることで自分の考えも見直せることになる。 <p>6 次時の確認と予告をする。</p>	<p>10分</p>	<p>◎自他の考えを明確にさせるため、グループでの共有活動から、自分の考えや根拠を吟味させ、最終的な修正点や改善点をLACシートに朱書きさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[思考・判断・表現] ① ◇自分の考えが分かりやすく伝わるように論理の展開を考えている。 〈観察・LACシート(書く)〔記〕〉</p> <p>[思考・判断・表現] ② ◇論理の展開などについて、読み手からの助言を踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 〈観察・LACシート(書く)〔記〕〉</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度] ◇社会生活の中の話題に関心をもち、学習の見通しをもって自分の立場や伝えたい事柄を明確にして、説得力のある文章を書こうとしている。 〈観察・LACシート〔記〕〉</p> </div> <p>・次時は学習のまとめとして、LACシートの記述を基に、テーマに対する批評文を600字程度の文章にまとめることを伝える。</p>
--	------------	---

6 本時の展開 (4 / 4)

- (1) ねらい 説得力のある批評文を書くことができる。
(2) 準備 教科書、掲示資料、LACシート、原稿用紙、振り返りシート
(3) 展開

<p>学習活動 ・ 予想される生徒の反応</p>	<p>時間</p>	<p>指導上の留意点及び支援・評価 ◇評価 ◎研究上の手立て ※努力を要する状況(C)への手立て</p>
<p>1 前時を振り返り、本時の学習課題と手順を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[本時の学習課題] 説得力のある批評文を書こう</p> </div>	<p>5分</p>	<p>・本時の学習課題を導くため、前時に使用したLACシートの記述内容を振り返らせる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【テーマ】 受験生を励ますポスターを批評しよう</p> </div>		
<p>2 批評文を書く。(個人)</p>	<p>25分</p>	<p>◎学習のまとめとして、LACシートの記述から、より説得力があると判断した根拠を二つ選び、予想される反論とそれに伴う再反論を考え、テーマに対する批評文として600字程度の文章にまとめることを指示する。 ※うまく書けない生徒には、モデルを提示し、LAC</p>

		<p>Cシートの根拠①～アドバイス欄の順番に書くことを指示する。また、論理展開例や書き出し例を記したカード型のヒントカードを用意し、必要な生徒に配付する。</p>
<p>3 まとめた文章を読み合う。 (隣席同士などの小グループ)</p>	<p>10分</p>	<p>◎論理的・批判的思考力の高い考えに触れさせるため、小グループの活動の中で説得力のある批評文だと称賛を受けたものは教師が意図的指名をし、全体に発表させ、学級全体で称賛していく。</p>
<p>4 本単元の学習を振り返る。(個人) (予想される生徒の反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観点を立てて、根拠を考えることにより説得力が増すことが分かった。 ・LACシートを見比べてみると、自分の考えがだんだん説得力のあるものになってきた。 ・LACシートは1枚で考えの流れが分かり、使いやすかった。 	<p>10分</p>	<p>◎説得力のある根拠の見だし方や、他者の助言や反論から自分の考えを見直したり深めたりしたこと、LACシートの有効性について振り返りシートに記入させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[知識・技能]</p> <p>◇自分の立場や考えを明確にし、説得力のある文章にするために、ふさわしい語句を選び、適切に使うことができている。〈観察・批評文〔記〕〉</p> <p>[思考・判断・表現] ①</p> <p>◇表現の仕方を考え、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。 〈観察・批評文・振り返りシート(書く)〔記〕〉</p> <p>[思考・判断・表現] ②</p> <p>◇論理の展開などについて、読み手からの助言を踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 〈観察・批評文・振り返りシート(書く)〔記〕〉</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <p>◇社会生活の中的话题に関心をもち、学習の見通しをもって自分の立場や伝えたい事柄を明確にして、説得力のある文章を書こうとしている。 〈観察・批評文・振り返りシート〔記〕〉</p> </div>

グループ検討会進行表（第1時・第2時・第3時）

3年 組 番 名前 _____

①役割分担をしよう

・司会者を決める

・記録者を決める（第3時のみ）

②進め方

・司会者の左隣の人から意見、根拠、具体的事実を発表する。

（発表が終わったら・・・）

・発表者以外の人が質問、反論、助言など考えて、ふせん紙に書く。

（グループのメンバーがだいたい書き終わったら・・・）

・司会者も含めて発表者に質問、反論、助言をする。

例 一目見て、何のポスターが分からなければ、多くのひとはスルーしてしまうのでは？

（発言したらそのふせん紙を相手のLACシートにはる）

・発表者は質問や反論にその場で答える。

（以下、同じ流れで・・・）

例 入試に落ちた人は不愉快になるのでは？

・あまり質問や意見が出なかったら司会者が質問や反論をするか、他の人を指す。

・一人が終わったら同じ流れで次の人の考えを検討する。

・全員検討し終わったらMVP（最も説得力のある考え）を決める。（第3時のみ）

1時間目の振り返り：学習課題〈説得力のある根拠を考えよう〉

2時間目の振り返り：学習課題〈説得力のある根拠をたくさん考えよう〉

3時間目の振り返り：学習課題〈自分の考えに対する反論を予想し、再反論を考えよう〉

単元を終えての振り返り：学習課題〈説得力のある批評文を書こう〉

3年 組 番 名前 _____

説得力のある根拠を考えられたか。	○ ○ △	他の人の助言から自分の考えを深められたか。	○ ○ △
理由			
L A Cシートを使ったことで説得力のある根拠が考えられたり、自分の考えを深められたか		5・4・3・2・1	
理由			

ヒントカード

前時までの生徒の記述からピックアップしたものを、テレビモニター等を使用し、全体で紹介した後、個人思考の時間に使用。第2時以降、うまく根拠・事実が考えられない生徒に対して、手のひらサイズに印刷したヒントカードを必要な生徒に配付する。

具体的事実 = 具体例

自分の経験や身近な話題で考える

考 励ましてくれる

根 文章には「だいじなのはスベったあとだ」と書いてあるから。

事 自分の経験の中でも失敗してから何がだめだったか考えることが大切だと思う。

考 気持ちを楽にしてくれる

根 「不合格な試験はあっても不合格な人生はない」と書いてあり、受験に対して「不合格してもまた次がある」という気持ちを抱かせてくれるから。

事 受験生の気持ちを少しでも楽にしてあげれば、受験の緊張は少しなごむ。

考 失礼だと思う

根 落ちること前提で書いてあり、受験を応援されている気がしないから。

事 逃げ道を先に言われてしまうと気のゆるみにつながる可能性がある。

考 失礼だと思う

根 「スベる」がわざわざカタカナだから。

事 たくさん「スベる」を強調されると精神的に気持ちが下がる。

まずはあなたの考えを！

受験生に失礼

おもしろい

励まされる

伝わらない

印象に残る

つまらない

分かりやすい

腹立たしい

根拠例

ダジャレ

根拠例

本文

根拠例

受験生の
気持ち

根拠例

字体や
平仮名カタカナ

モデル原稿

LACシートにまとめられた考えを、最終的に文章化する際、モデル提示として使用。文章の構成や論の展開の仕方について、LACシートの記述の順で書くよう指示したことにより、筋道の立った文章を書くことができた。

考え

根拠・事実

予想される
反論と答え

まとめ

私はこのポスターは、受験生を励ましてくれるすばらしいポスターだと思う。

理由は二つある。まず一つ目は、ダジャレが緊張をほぐしてくれるからだ。このポスターで一番最初に目に入るのは「すべてはすべてから。」というダジャレである。入試の日には誰でもすごく緊張しているが、このダジャレを見て、「クスッ」としたり、「くだらない」と思ったりして、見る人はリラックスできると思う。二つ目は、本文にとっても前向きな言葉が書いてあるからだ。「不合格な試験はあっても、不合格な人生はない」や「キミが人生の答案用紙を書くのは、これからだ」は合否が不安でたまらない受験生や、試験の結果で人生のすべてが決まってしまうと思ひこんでいる受験生にとっては気持ちが楽になる言葉だと思う。不安でいっばいの入試の日にはこのポスターを見ることで、受験なんて人生の中ではたいしたことではない、と思ひ直し、普段よりも力が発揮出来るかもしれない。

400字

たしかにダジャレは受験生に対して失礼なのではないか、や本文は試験に落ちること前提で書いてあるのではないか、などの意見もあるだろう。しかし、注目されなければポスターの意味がないので、このダジャレはとて

も注目され、さらに本文を読んだ多くの受験生が励まされることだろう。

以上の点から、ダジャレ一つで不安な気持ちを変えてくれるこのポスターはすばらしいと思う。

600字

